

特別支援 国語科学習指導案

平成 24 年 11 月 3 日 (土) 5 校時

特支 1 組 男子 4 名 計 4 名

授業者 T 仲松由起

T 渡久地愛子

1 単元名 4 コマ漫画のお話について考えよう。

教材名 がじゅまるファミリー

2 単元目標

- (1) 4 コマ漫画に興味をもち、楽しんで読んだり、考えたりしようとする。【関心・意欲・態度】
- (2) 各コマの様子や登場人物のしたことについて、想像しながら読むことができる。【読むこと】
- (3) ファミリーの動きや会話、気持ちなどから、お話の内容を考えることができる。【読むこと】
- (4) 吹き出しの中の言葉を考えて、想像をふくらませて書くことができる。【書くこと】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、文章のまとまりを意識した「始め、中、終わり」の構成について学習した後の単元となる。新聞の 4 コマ漫画から、お話の情報を得て、「誰が」「どうした」をはっきりさせながら、お話の「始め、中、終わり」の流れを捉えさせる。4 コマの絵は、起承転結の場面になっており、登場人物の気持ちや動きを想像しながら、順序よくお話を考えることができるようになっている。1 コマずつの場面の様子から、想像をふくらませたり、吹き出しを声に出して言ってみたりして、お話を楽しむことができる教材である。

(2) 児童観

本学級の児童は図書館で本を借りて読書を楽しむことが定着しており、読書や音読が好きな児童が多い。発表については、意欲的に発表する姿が見られる一方で、恥ずかしさや間違いを恐れる気持ちから全体の場で自分の意見を発表することを苦手とする児童もいる。しかし、友だちと話すことに関しては、4 名全員が「概ね好き」と答えていることから、話し合い活動を中心に、自分の考えを発表することへの抵抗感を取り除いていけるようにしたい。

4 コマ漫画を使った本単元では、児童に親しみやすい教材ということもあり、意欲的に取り組む姿がみられる。4 コマ漫画は四つの場面で構成されているが、順序よく内容を読み取ったり、場面に合った適切な言葉で気持ちや様子を表現したりすることが苦手な児童が多い。

(3) 指導観

4 コマの場面の登場人物の行動に着目させ、気持ちや様子を想像させる。自分のイメージを児童なりの言葉で表現させ、全体で事柄の順序を確かめ合い、あらすじをまとめていく。その上で、吹き出しの言葉を考えたり、書いたりする活動を取り入れる。まとめの段階では、書いた吹き出しを交流する場面も取り入れ、自分の考えを深めながら、友だちの良さも感じ取らせ、4 コマ漫画の楽しさを味わい、もっといろいろな 4 コマ漫画を読みたいという思いにつなげたい。

「うるま市実践 9 項目」との関わり

ねらいを明示した授業の実施

板書の工夫(チョーク色分け)

自己評価の実施(挙手確認)

家庭学習と授業との連動

教材・教具・説明の工夫(掲示物、ワークシート)

形成的評価(理解確認)「吹き出し」の記述や対話

言語環境の整備と言語活動の充実

学習習慣の確立(姿勢の唱え言葉)

4 本時の学習 (4 / 5 時間)

(1) ねらい

- ・ 4コマの漫画をもとに、楽しくお話や吹き出しを考えることができる。

(2) 授業仮説

- ・ 身近な4コマ漫画を利用することで、親しみを持ち意欲的に取り組むことができるであろう。
- ・ どのような絵かを話し合う場面において、「誰が」「どうした」に着目させ、登場人物の動きを確かめさせることによって、順序が整理され、お話や吹き出しを考えることができるであろう。

(3) 展開

| | 学 習 活 動 | 指導上の留意点【 実践9項目】 | 評 価 |
|------------------------|---|--|--|
| 導 入 10 分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 始業のあいさつ 1 前時の学習を想起する。 ・ フラッシュカードクイズ ・ 前時にまとめたお話を音読する。 2 学習のめあての確認をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の復習と予習で自信をつけ、意欲を高める。【 家庭学習と授業との連動 】 ・ 言葉を発しやすい雰囲気を作る ・ 前時の学習を想起させ、本時の授業内容の見通しを持たせる。 ・ 学習のめあてをつかませる。 | <p>【 関意態】(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に取り組もうとしている。 ・ めあてをつかむことができる。 |
| 展 開 25 分 | <ul style="list-style-type: none"> 3 4コマ漫画について話し合う 「誰が」「どうした」について考える。 場面ごとにまとめる。 まとめをつないだ全体のお話を全員で音読し、再確認する。 4 ワークシートの言葉を考える。 ・ 自分なりに考え、表現する。 ・ 吹き出しに記入する。 5 できた吹き出しを発表する。 ・ 友だちの発表の良いところを見つけながら聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「誰が」「どうした」に着目させる。 ・ 児童の発言を拾いながら、分かりやすく解説しまとめる。 ・ まとめを黒板に書く。チョークの色分けをし、板書を分かりやすくする。 【 板書の工夫 】 ・ 発言を肯定し、次の発言へつなぐ。 ・ 吹き出しは、会話、気持ちのどちらでもよいことに気づかせる。【 理解確認 】 ・ 書けない児童は、自信につながる声かけで支援する。 【 言語環境の整備と言語活動の充実 】 ・ 児童が自らの言葉を用い、自分なりの表現ができるようにする。 【 習得したことを活用する場の設定 】 | <p>【 読む】(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指示をよく聞き、考える。 ・ 質問に答えることができる。(発言) <p>【 書く】(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想像して楽しく吹き出しを考えることができる。 <p>・ 吹き出しを発表することができる。(観察)</p> |
| ま と め 10 分 | <ul style="list-style-type: none"> 6 本時の振り返りをする。 7 次時の学習を知る。 ・ 終わりのあいさつ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の学習に意欲を持たせる。 | |

(4) 評価 ・ 4コマの場面の漫画をもとに、楽しくお話や吹き出しを考えることができたか。

(5)板書計画

